

大阪女学院大学
2026 年度入試問題（公募制学校推薦型入試・一般選抜共通）英語

出題意図

本試験は、大学入学後の学業遂行に必要な英語のリーディング及びライティング能力、語彙・文法の知識を総合的に測定するものです。グローバル化が進む現代社会において、大学での専門的学習や研究活動に不可欠な英語運用能力を適切に評価することを目的としています。

【問題構成と解答形式】

解答形式は、長文読解の2問（本文中の代名詞・指示代名詞を日本語または英語で説明する記述式）を除き、すべてマーク式となっています。問題構成は、長文読解問題15問、文法・語法問題16問、英作文問題（単語または語句の並び替え形式）6問の計37問です。試験時間は80分で、各分野がバランスよく配置されており、受験生の英語力を多角的に評価できる構成となっています。

【長文読解問題の特徴】

読解問題においては、人文科学、社会科学、自然科学など幅広い分野から題材を選定し、特定の話題・分野に偏ることなく出題しています。文章の内容は、背景知識のみでは解答できず、確実な読解力を必要とする問題構成を心がけました。設問では、文章の要旨把握、詳細理解、推論能力など、大学での学習に必要な多様な読解技能を測定します。また、設問で使用する語彙については、最新版『リーダーズ英和辞典』で星2つまたは3つの語に限定し、適切な難易度を保ちながら高校レベルの英語力を的確に測定できるよう配慮しています。

【求められる能力】

高得点を目指すには、単なる語彙・文法知識にとどまらず、長文を迅速かつ正確に読解する能力、文脈を適切に把握する能力、論理的思考力が重要となります。特に、限られた時間内で複数の長文を処理する能力や、文章全体の構造を理解して設問に答える総合的な英語運用能力が求められます。

【文法・語法問題と英作文問題】

文法・語法問題では、高校で学習する基本的な文法事項から応用レベルまで幅広く出題し、正確な英語理解の基盤となる知識を測定します。英作文問題では、英語の自然な言い回しや定型表現を重視し、文法や個々の単語の知識だけでは解答できない設問としています。これにより、実際のコミュニケーションで使用される生きた英語表現の理解度を評価し、大学入学後の英語による発信力の基礎となる能力を測定します。